

場の名前	NPO 法人さいたまシニアパソコン友の会		
運営団体	NPO 法人さいたまシニアパソコン友の会		
住所	埼玉県さいたま市浦和区東仲町 25-28 東口ロイヤルビル 4F		
電話	048-731-9555	E-mail	pasotomo001@future.or.jp
代表者名		活動を始めた時期	2001 年（法人化は 2007 年）
HP	<a href="http://www.future.or.jp">http://www.future.or.jp</a>		
<b>活動内容</b>			
60 歳以上が通える、パソコンの取得を目指した仲間づくりの会。月額会員制のパソコン講座で、10 講座があり、好きなコースに参加することができる。終了後に他のコースを受講することもできる。会費は 2,200 円/月。リーダーと呼ばれるコースの講師はもと受講生。非会員でも参加できる無料の参加体験コースも年に 2 回開催されていて、そこに参加してから会員になる人も多い。また、会員向けに日帰りバス旅行やホテルでの懇親会などの企画も行われる。			
参加者層	2019 年 2 月時点での会員は 331 人。一番多かった 2012 年は 470 人で、会員の延べ人数は 1,723 人（2019 年 2 月）。会員の大半が 60 歳以上で、85%が女性。さいたま市内がメインだが、さいたま市以外の市からの参加者もいる。		
活動日	月曜から金曜日の 10 時～12 時、13 時 30 分～15 時 30 分の 2 コマ。土曜日にも開催することもある。		
<b>スタッフの働き方</b>			
運営の中心は理事会メンバーの 11 名（理事 9 名と監事 2 名）。総務部、学習部、企画部、経理部の 4 つの部、さらに講座を行うリーダーとサブリーダーが 40 名おり、運営側は約 50 名。そのうち 8 割が女性。			
<b>はじめたきっかけは？</b>			
IT の普及を目指した政策の一環で 2001 年に郵便局主催の事業として浦和中郵便局でパソコン教室が始まる。会員は増え続けて 400 人を超えたが、2006 年に郵政の民営化に伴い、教室が廃止になる。そこで当時の会員で NPO 法人シニアパソコン友の会を設立した。設立時の会員が 400 名。もともとは会場も機材も郵便局が用意してくれたものを使っていたため、法人設立と事業開始に伴い、それらをすべてゼロから用意。機材や会場はすべて当時のメンバーの初期投資で賄われた。			
<b>どんな特徴があるのか？</b>			
特徴はリーダー（講師）が全員もと受講生であるということ。3～4 年いろいろなコースを受講して、そのあとのサブリーダー（講師補助）からリーダー（講師）になる人が多い。「生徒時代に習った恩返し」「みんなで学び合う」という感覚を持って取り組んでいる。パソコン講座は、10 講座があり、1 つのコースが月に 2 回×6 ヶ月続く（お盆と正月に休みを挟むので全 11 回）。ひとつのコースを終えたら他のコースを受けることができる。参加者は 1 コース 22 名。ひとつのコースにリーダー（講師）とサブリーダーがついている。			
<b>どんな人が集まっているか？</b>			
会員は 60 歳以上のシニアで 85%が女性。さいたま市からの参加がほとんどだが、近郊まで門戸を広げており、現在は川口市や蕨市や所沢市から参加している人もいる。			
<b>運営のコツ（ヒト・モノ・カネ）</b>			

「友の会」の名の通り、パソコンを習いに来るだけでなく、日帰りバス旅行や懇親会などの会員向けに親睦を図るメニューを用意している。実際にパソコン講座に来るだけでなく、受講後にみんなでお茶を飲むなどを楽しみに参加している人もいる。

課題はいかにして参加者を増やしていくか。現在の60代になるシニアは現役時代に仕事でパソコンを使っていた人がほとんどで、一通りのことはできる人が多い。また、スマートフォンの普及に伴い、パソコンを習う需要が減ってきているおり、それに合わせて同会でもスマホ講座を始めた。

会費は2,200円と他のパソコン講座に比べても格安。運営メンバーや講師はボランティアで活動しており、さらにパソコンの買い替えなどの設備投資に備えて積み立てもしている。